

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和2年3月30日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

| 協議会名                 | ①事業の結果概要   | 協議会における事業評価結果     |  | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|----------------------|--|-------------------|--|---|----|
|                      |  | ②事業<br>実施の<br>適切性 | ③計画策定に向けた方針<br>又は事業の今後の改善点   | 評価結果  |    |
| 嘉麻市地域公共交通<br>会議      | 【事業内容】<br>・公共交通利用ガイドの作成<br>【結果概要】<br>・令和2年度に市内の公共交通路線の抜本的な再編を行うにあたり、再編後の公共交通体系への円滑な移行を図るため、新たな公共交通体系(デマンド運行型バス)の利用方法を案内する冊子を作成します。   | A                 | 今後も誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通の実現に取り組むため、市内の各世帯に行政区回覧を通じ、配布及び市役所等公共施設や乗継拠点である総合バスステーション、道の駅等にも配布による公共交通利用ガイドの周知など、身近にある公共交通網の啓発に取り組めます。  | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。   |    |
|                      | 【事業内容】<br>・市バスのラッピング<br>【結果概要】<br>・当市のゆるキャラである「かましちゃん」や合併前の旧市町の特徴のある動物たちや名産品、歴史上の人物などのイラスト、日本山岳遺産へ登録されている嘉穂アルプスと遠賀川をモチーフにしたデザイン、遠くからでも分かる色にすることで、利用者が市バスと認識しやすく愛着を持ち、利用促進に繋がる車両の外観となるラッピングを行います。 | A                 | 今後も誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通の実現に取り組むため、バスの利用状況を分析した上で、同様の事業を実施し、利用促進を図ります。   |   |    |
| 大牟田市地域公共交通<br>活性化協議会 | 公共交通マップの作成   | A                 | 公共交通マップを印刷し、駅などの路線バスとの接続ポイントや官公庁施設、高齢者向けのバス教室等で配布および設置を行い、公共交通の利用促進に努める。   | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、公共交通マップを更新する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに、過去の第三者評価委員会において助言のあった①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載をあわせてご検討願います。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されるとともに、今後の利用促進の取組が地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。 |    |
| 荒尾市地域公共交通<br>活性化協議会  | モビリティマネジメントの実施【荒尾市・産交バス・西鉄バス】<br>高齢者を対象としたモビリティマネジメントとして、個々の生活パターンに合った公共交通利用提案書、お試し乗車券及び公共交通に関する資料を対面にて配付・説明を行い、利用促進を図った。  | A                 | 本事業については、複数回、対面により説明を行う必要があるものの、対象者が高齢者であり、対象者への負担が大きいことが課題である。<br>今後は事業効率化について検討するとともに、本事業の結果を分析し、配付資料別の有益性を把握し、対象者に関心を持たせる資料提供を行う。また、より効果の高かった地域、及び年代をターゲットに、引き続き、個々の生活パターンに合った公共交通利用提案やお試し乗車券等の説明・配付を行う。<br>なお、本事業の効果を上げるため、交通事業者と共同で実施することについても検討する。 | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。   |    |

| 協議会名                | ①事業の結果概要   | 協議会における事業評価結果     |   | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考 |
|---------------------|--|-------------------|---|---|----|
|                     |  | ②事業<br>実施の<br>適切性 | ③計画策定に向けた方針<br>又は事業の今後の改善点  | 評価結果  |    |
| 玖珠町地域公共交通<br>活性化協議会 | 地域住民に対するモビリティマネジメント<br>・地域住民の公共交通利用の促進を図るため、小学生や高齢者を対象にしたモビリティマネジメント(公共交通利用体験会)を開催し、公共交通になれ、利用する意識の醸成を図った。古後地区と日出生地区の2箇所を実施した。   | A                 | 参加者に時刻表とおりに路線バスや、福祉バス、まちなか循環バスに実際に乗車してもらうことにより、バスの利便性について、理解を深めていただいた。参加者も公共交通の利用について意識を深めていただいた。今後も他の地区での実施を行いたい。                            | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題を参考に引き続き利用促進の取組を実施されるとともに今後、公共交通マップ・総合交通時刻表を更新する際は、過去の第三者評価委員会において助言のあった①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載をあわせてご検討願います。今後の利用促進の取組が地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。  |    |
|                     | 公共交通マップ・総合時刻表の作成<br>玖珠町内に存在する民間路線バス(日田バス、玖珠観光バス)及び玖珠町の運行するまちなか循環バス、ふれあい福祉バス、小型乗合バス、その他町外を連絡する高速バスやJRの路線図や時刻表を掲載した総合時刻表を作成する。また地区別に公共交通の利用方法を案内するパンフレットを作成した。(6,500部作成)   | A                 | 交通機関ごとの時刻表が別々に作成されているため、異なる交通機関どうしの乗り継ぎや、行きたい場所へのアクセス情報などが分かりづらかった。この問題を解消するため、町内の公共交通資源を総合的に網羅した路線図・時刻表を作成することで、利用者の利便性の向上及び公共交通の利用者の増につなげる。 |   |    |
| 志布志市地域公共交通<br>活性化会議 | <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共バスマップの作成</li> <li>・公共交通総合マップの作成</li> <li>・中山間地域における新たな公共交通サービスの利用促進に係る関係機関ワーキングの開催</li> <li>・地域におけるワークショップの開催</li> <li>・路線バス利用者実態調査</li> <li>・公共交通の乗り方教室の実施</li> <li>・活性化会議の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスマップおよびバス総合時刻表を15,000部作成した。</li> <li>・市内の公共交通全てを網羅し、また乗り継ぎ情報等を記載した公共交通時刻表(多言語対応)を15,000部作成した。</li> <li>・現在の福祉タクシーやその機能を補完する街なかの移動に関する利用促進策についてワーキングを行った。</li> <li>・市内3地区において現在の交通手段について困っていること、今後の展開についてワークショップを各3回行った。</li> <li>・市内の廃止路線代替バス全ての路線について乗りこみ乗降調査を行った。</li> <li>・地域のボランティアの方の協力を仰ぎ、駅前イベントの際に、バス、電車の乗り方教室を開催した。また各地区において高齢者を対象に福祉タクシーの利用の仕方、会員登録について説明等を行った。</li> <li>・上記の件について実施する事業の確認について活性化会議を開催。結果報告等についても開催予定。</li> </ul> | A                 | 中山間地域における現在の交通サービスや新たな交通サービスを構築していく上で、住民の行先、時間帯等について、ワークショップで得られた意見等を元に交通体系を構築していく。また作成したマップ等についても今後のダイヤ改正に迅速に対応し、市民に提供していきたい。                | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今回得られた成果や課題を参考に引き続き利用促進の取組を実施されるとともに今後、公共バスマップ・公共交通総合マップを更新する際は、過去の第三者評価委員会において助言のあった①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載をあわせてご検討願います。協議会が日々の公共交通の利用、取組の情報を認知する場として活用されるとともに、今後の利用促進の取組が地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。 |    |
| いちき串木野市地域公共交通<br>会議 | <p>【事業内容】</p> <p>公共交通マップの作成</p> <p>【結果概要】</p> <p>市内を運行する地域幹線バス、地方バス、コミュニティバス、デマンド型タクシー等の路線を全て集約した公共交通マップを作成し、市内全世帯へ配布した。また、今年度デマンドタクシー導入地区においては、個別にパンフレットを作成、配布した。</p>   | A                 | 今後も網計画に基づいて、市内バス、タクシー路線の見直し計画に基づいて予定されているため、他市のマップ等を参考に利用者目線に立った見やすいマップ、手引き等の作成に努める。  | 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。今後、公共交通マップを更新する際は今回得られた成果や課題を参考にされるとともに、過去の第三者評価委員会において助言のあった①字の大きさ、②サイズ、③利用者が自宅の最寄りのバス停の時刻を手書きできるメモ欄の設定、④バスの時刻に間に合わない際のタクシー会社の電話番号の記載をあわせてご検討願います。今後の利用促進の取組が地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待します。  |    |